

子どもの幸せのために、あなたにもできることがあります

「はぐくみホーム」に なりませんか



あなたの“家庭”を必要とする子どもたちがいます。

子どもは、親の深い愛情につつまれて、家庭で心身共にすこやかに育つことが望まれます。しかし、さまざまな事情で家庭を離れて生活しなければならない子どもたちがたくさんいるのが現状です。

家庭で育つことのできない子どもたちをご自宅に受け入れて、一定期間、深い愛情と理解を持って育ててくださる方を「はぐくみホーム」と呼んでいます。子どもたちは、すこやかに育つためにあなたの家庭を求めています。

「はぐくみホーム」って?

事情があって家庭で生活できない子どもを一定期間育ててくださる家庭を、大阪府では「はぐくみホーム」と呼んでいます。

保護者と離れて暮らす子どもたちの事情は様々。だから子どもにとって必要なはぐくみホームも様々です。

数日から1週間程度の短期間や、自立して生活できるまでの長期間。

あなたの家庭でも、できることがきっとあります。

より多くの家庭に、「はぐくみホーム」に協力していただくことが必要です。

数日からの短期の「はぐくみホーム」も求めています。



Q&A

Q 夫婦共働きなのですが…

A 共働きで活動されている方もおられます。あなたの家庭の状況に応じた、できる範囲の支援の方法をご検討ください。

Q 自分の子どもがいてもできますか?

A 実子のいる方もたくさんおられます。子ども家庭センターに一度ご相談ください。

Q どんな子がいいか希望は言えますか?

A ご希望はうかがいますが、はぐくみホームを必要とする子どもの性別や年齢と、受け入れ家庭のご事情や家族構成などを確認し、子ども家庭センターが総合的に判断します。

Q お金持ちでないと無理ですか?

A 特別に広い家や、財産は必要ありません。「はぐくみホーム」の場合、子ども1人につき月額9万円の手当が支給されます。また、食費や被服等にあてる一般生活費や、学校等に支払う費用などの実費分を支給します。医療費も公費で支払われます。

Q 子どもを育てるのは大変そう。疑問や悩みを相談することはできますか?

A はぐくみホームを担っていただける方が安心して活動していただけるように、子ども家庭センターや里親支援機関、施設の里親支援専門相談員等が、電話や訪問により話をお聞きして一緒に解決方法を考えます。また、地域の里親会による支援や交流活動もあります。

Q はぐくみホームになるための要件はありますか?

A 次のような要件があります。

- 1.心身ともに子どもの養育が可能な状態であること
- 2.子どもの養育についての理解及び熟慮並びに子どもに対する豊かな愛情をもっていること
- 3.経済的に困窮していないこと
- 4.子どもの養育に関し、虐待等の問題がないと認められること
- 5.「児童福祉法」で定める欠格事由に該当しないこと（「児童福祉法」及び「児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律」の規定により、罰金以上の刑に処せられたことがないことなど）

※はぐくみホームとは…児童福祉法第6条の4に規定されている養育里親の大阪府の愛称です。

Voice

「はぐくみホーム」のストーリー

大阪府には、様々な理由から自分が生まれた家庭で暮らすことのできない子どもや若者たち(0歳~18歳)がおよそ3,000人います。

こうした子どもや若者たちは、乳児院や児童養護施設など、または里親家庭で暮らしています。

その子どもたちが家庭で育つ機会を一緒につくりませんか?

Case はぐくみホームになって…

はぐくみホームになって3年目。これまでに3人のお子さんを預かりました。里親制度が正しく理解されて、預かる子どもたちが生活しやすくなって欲しいと思っています。

「はぐくみホーム」を始めたきっかけ

結婚して4年が過ぎ、不妊治療も考えましたが、親に育ててもらえず愛情もかけてもらえない子ども達のために、里親という立場で子育てできたらと思うようになりました。34歳で長男を授かったあともその思いは変わらず、家庭内の体制も整ったので、里親登録をすることになりました。夫も里親登録にすぐに動いてくれました。

初めは1週間から

最初に委託されたのは生後10カ月のA君でした。お母さんの入院の間の1週間ということでした。子ども家庭センターの担当者から昼過ぎに連絡があり、夕方には私はA君を抱っこしていました。A君は寝ている間に我が家に来たので、A君が目覚めた時に、泣かれるのを覚悟していました。しかし、全く泣く気配はなく、不思議そうに真っ直ぐ私の目を見て視線を外しません。子どもって本能で自分の世話をしてくれる人が分かるのではないかと感じました。24時間一緒、A君中心の生活は、あっという間でした。

子どもの適応力に涙

その次に委託されたのは、1歳8カ月のB子ちゃんです。お母さんの出産のため1カ月預かって欲しいとのことでした。その子もセンターの方と我が家に来て、いつの間にか私と2人になったという状況でしたが、泣きませんでした。人見知りもせず、誰にでも愛想よく、実家や近所の人にずいぶん可愛がってもらいました。2週間ほどたった頃、B子ちゃんは夫のことをパパと言い始めました。まだ片言しか話せないような子どもが状況に適応しようとしているのを見たとき、胸が締め付けられるように切なくなり、パパと呼ばれた夫も驚き、涙ぐんでいました。

そして、現在

現在は4歳のC君をお預かりしています。センターより、4歳のC君に子どもらしい、いろいろな経験をさせてあげる必要があるのをお願いしたいと連絡がありました。

センターの説明を聞くと、C君は人との関わり方を知らず、大人を大人とも思わない性格だということです。まず、面会に行くことになりました。初めて会ったC君は、私と目を合わさそうとせず、私がよそを向いたらその際にこちらを上目使いで盗み見

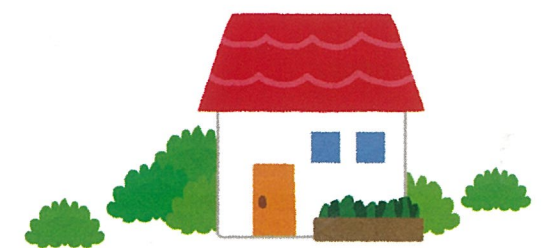
ていました。面会からしばらくして、家に一泊で外泊することになり、荷物を車に積み、あとは本人が乗るだけになったのですが、大泣きされてしまい、どうなるのかなと思いつながりながら連れて帰りました。連れて帰ってしまうと、あとはすぐに慣れて長男と一緒におもちゃで機嫌よく遊んでくれました。話を聞いているだけのときは迷いましたが、実際C君に会ってみると明るく活発で子どもらしい子だと、心は決まっていた。C君を迎えに行った日から、C君と私達で4人家族になりました。初めは大人しくしていたC君も、すぐに本領発揮して、素直に大人のいう事が聞けません。また、言われていたとおり、生活習慣も身につけていませんでした。しかし、C君も私達の生活リズムについていくのがやっとなで、大変だったと思います。委託から4ヶ月たった今は、本当に落ち着いて自然に甘えてくるようになり、保育園も楽しんで行っています。

子どもたちに成長させてもらっている

周りの人に里親について説明するとき、聞いた人達の反応は、「偉いね、私には無理やわ」というのが大体の反応です。何も特別なことをしているわけではなく、子どもを交えて普通の日常生活をしているだけです。笑ったり、泣いたり、怒ったり、悩んだりしながら、ふと気がつくとC君との生活が当たり前になっています。里親制度が正しく理解してもらえて、里親を必要とする子どもにとって生活しやすい世の中になって欲しいと思います。

それぞれの子ども達の長い人生の中で、私達が関わったのはほんの一瞬です。一緒に生活したことなんて記憶にも残らないでしょう。けれども、これからもいろんな事情で委託されてくる子どもたちに、私達も成長させてもらいながら里親を続けていきたいと思っています。

(平成21年度大阪府里親シンポジウム 体験談より)



「はぐくみホーム」になるためには

「はぐくみホーム」になるためには、特別な資格は必要ありません。

1 相談

まずはお電話をください。問い合わせ先は下記の「お問合せ窓口一覧」をご参照ください。

2 面接

あなたがなぜ「はぐくみホーム」になりたいのか、子どもの頃の経験や現在の状況など、様々なことを伺います。

3 登録前研修

面接が終わると研修です。「はぐくみホーム」の役割や子どもの行動、安全に養育するために何ができるかなどについて理解を深めていきます。

6 大阪府社会福祉審議会

面接、研修、実習、家庭訪問を通して集められたあなたについての情報が共有され、「はぐくみホーム」登録可能かどうかの審議が行われます。

5 家庭訪問

児童相談所の職員があなたのお宅を訪問します。研修や実習を踏まえ、「はぐくみホーム」登録に向けた更なる話し合いが行われます。

4 実習(乳児院・児童養護施設)

研修などで学んできたことを実践する機会です。施設で暮らす子どもたちと関わる中で、研修で分からなかった新たな発見もあるでしょう。

7 登録

おめでとうございます! これであなたも「はぐくみホーム」です。子どもの委託の話が来るのを焦らずお待ちください。

はぐくみホームに関心を持ったなら、検討している段階でもかまいません。
地域の窓口までお問い合わせください。

お問合せ窓口一覧 まずはお気軽にお電話ください。

大阪府子ども家庭センターの受付時間

月曜日から金曜日
午前9時から午後5時45分
(土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)

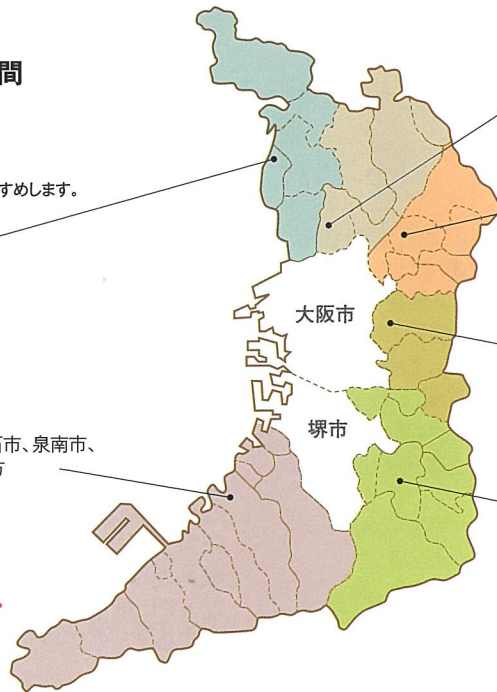
センターにお越しの際は、あらかじめお電話でのご予約をおすすめします。

豊中市、池田市、箕面市、豊能町、
能勢町にお住まいの方

■キアアセット
TEL 06-6720-6811
■大阪府池田子ども家庭センター
TEL 072-751-2858

岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、
阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町にお住まいの方

■里親支援機関つむぎ
TEL 0725-58-7001
■大阪府岸和田子ども家庭センター
TEL 072-445-3977



吹田市、高槻市、茨木市、摂津市、
島本町にお住まいの方

■キアアセット
TEL 06-6720-6811
■大阪府吹田子ども家庭センター
TEL 06-6389-3526

守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、
四條畷市、交野市にお住まいの方

■里親支援機関おひさま
TEL 072-380-3455
■大阪府中央子ども家庭センター
TEL 072-828-0161

八尾市、柏原市、東大阪市にお住まいの方

■キアアセット
TEL 06-6720-6811
■大阪府東大阪子ども家庭センター
TEL 06-6721-1966

富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、
藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、
千早赤阪村にお住まいの方

■里親支援機関with里親
TEL 072-959-2202
■大阪府富田林子ども家庭センター
TEL 0721-25-1131(代)

大阪府里親支援機関

養子縁組里親・週末里親の お問い合わせ

公益社団法人家庭養護促進協会
〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町12番10号
大阪市立社会福祉センター内
TEL 06-6762-5239
FAX 06-6762-8597

はぐくみホームのお問い合わせ

NPO法人キアアセット
〒577-0809
大阪府東大阪市永和2-2-29 永和ビル1号館3階
TEL 06-6720-6811 FAX 06-6720-6812

社会福祉法人大阪水上隣保館
里親支援機関 おひさま
〒573-0013 大阪府枚方市星丘1-20-8
TEL・FAX 072-380-3455

社会福祉法人和泉乳児院
里親支援機関 つむぎ
〒595-0071 大阪府泉大津市助松町3-8-7
TEL・FAX 0725-58-7001

社会福祉法人大阪福祉事業財団 高鷲学園
里親支援機関 with里親
〒583-0886 大阪府羽曳野市恵我之荘2-1-5
TEL 072-959-2202 FAX 072-959-2242



◀大阪市内にお住まいの方はこちら
「さとおやってなあに??」



◀堺市内にお住まいの方はこちら
「里親のこと知ってください」



◀大阪府にお住まいの方はこちら
(大阪市・堺市除く)
「さとおや通信～あなたも里親に～」



大阪府福祉部子ども家庭局 家庭支援課 育成グループ
〒540-8570 大阪府中央区大手前2丁目 TEL:06-6944-6318
<https://www.pref.osaka.jp/kateishien/satooyaseido/>

大阪府 さとおや通信

検索